2026年11月26日

各　　位

会 社 名　株式会社ファンペップ
代表者名　代表取締役社長　三好　稔美
（コード番号：4881　東証グロース）
問合せ先　取締役管理部長兼CFO　林　毅俊
（TEL. 03-5315-4200）

抗体誘導ペプチド「FPP004X」のオプション契約に関するお知らせ

当社は、抗体誘導ペプチド「FPP004X」に関するオプション契約（以下、「本オプション契約」）に関して、塩野義製薬株式会社（以下、「塩野義製薬」）より11月26日付でオプション権を行使しない旨の通知を受領しましたのでお知らせいたします。

＜通知内容＞
塩野義製薬は、オプション権行使の検討にあたり、FPP004Xの第Ⅰ相臨床試験結果及び開発ポートフォリオの優先順位等を検討した結果、FPP004Xのオプション権は行使しないことにいたしました。

当社は、2024年３月に塩野義製薬との間で本オプション契約を締結し、FPP004Xの全世界における独占的研究開発及び商業化権を取得するためのオプション権を供与しました。その後、当社は、日本において健康成人及び季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）の患者様を対象とする第Ⅰ相臨床試験を実施し、2026年７月に速報結果を取得しております（速報結果の詳細は、2026年７月27日付公表資料「抗体誘導ペプチド「FPP004X」の第Ⅰ相臨床試験の速報結果に関するお知らせ」をご参照下さい）。

当社は、現在、開発ポートフォリオの中で、塩野義製薬と共同開発中の皮膚潰瘍を対象疾患として開発中の機能性ペプチド「SR-0379」の日本における第Ⅲ相臨床試験（02試験）に注力しております。
FPP004Xの第Ⅰ相臨床試験結果を踏まえ、FPP004Xの開発は中止いたします。その他の研究開発プロジェクトについては、開発・資金リソースの優先順位付けを明確化して選択と集中を進めてまいります。

なお、本オプション権の不行使に伴い、塩野義製薬との間で新たな金銭の授受は発生しません。
また、2026年12月期の連結業績への影響については、本オプション権の不行使に伴い、2026年12月期第４四半期に事業収益300百万円を計上する見込みです。これは、2024年４月に受領し、前受金として計上していた本オプション契約の契約一時金を事業収益に振替えるものです。
2026年12月期の業績予想については、本日付公表資料「業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上